

社会科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
資料から必要な情報を取り出し、まとめること。	社会的事象について、比較したり関連付けたりしながら考え・判断し、説明すること。

	児童・生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読みとることに課題がある。ア 中心となる課題に対して解決するための情報を選択、判断することに課題がある。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取るための視点や方法を指導し、読み取り方を練習させる。ア イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・常時 	
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> 必要な資料を見付けたり、その中から必要な情報を読みとったりすることに課題がある。ア 資料と生活経験を比較したり、関連付けたりしながら、自分の考えをもつことが難しい。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を見付ける視点や技術、必要な情報を読み取る経験を増やす。ア 資料を、具体的事象と結び付けて提示をする。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎単元 ・毎単元 	
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> 調べる内容から資料を選択し、読み取ることが苦手である。ア 資料と資料、資料と生活経験を比較したり、関連付けたりしながら、自分の考えを表すことが苦手である。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から分かることを短い言葉で説明する活動を繰り返し取り入れる。ア 学習から分かったことや感想などを書く活動を多く取り入れると共に、友達の意見に触れることから自分の考えを広げられるようにする。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜 ・毎単元 	
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> 2 つ以上の資料からの読み取りに課題がある。ア 資料と資料、生活経験などから結び付けて関連付けることや、自分の考えをまとめることが苦手である。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で複数の資料を使って読み解くことを教えていく。ア 教科書や資料の手本を使いながら、具体的なまとめ方を教える。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜 ・毎単元 	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
<p>3・4年 ロイロノートで調べたことやまとめたことを共有する。【重点：個別】</p> <p>5・6年 ロイロノートで集めた資料やそれを基に考えたことを共有し、お互いに意見を伝え合う。【重点：協働】デジタル教科書を利用し、理解を深めていく。【重点：個別】</p>	<p>3・4年 単元末に学習問題について学んだことを振り返る時間を設定し、新たな課題を見いだす力を育てる。</p> <p>5・6年 単元ごとに学習のまとめをすることで、様々なまとめ方を知り、今後に生かすようにする。</p>